

2025年度 第1四半期 決算説明資料



2025年8月6日

株式会社三井E&S



※ 業績が好調に推移し、受注高・売上高・営業利益が全て前年同期比で改善

2025年度 第1四半期 決算概要	◆ 受注高 888 億円 (前年同期比 ) ◆ 売上高 812 億円 (前年同期比 ) ◆ 営業利益 89 億円 (前年同期比 )
2025年度 見通し	◆ 受注高 3,000 億円 (前回発表見通し比 ) ◆ 売上高 3,400 億円 (前回発表見通し比 ) ◆ 営業利益 240 億円 (前回発表見通し比 )
トピックス	◆ 港湾クレーン事業のベトナム展開 ◆ 日本格付研究所より、2 ノッチ引き上げとなる格付けBBB+を取得

2025年度 第1四半期 決算概要

※ 営業利益は、主力事業の採算改善により、前年同期比で倍増
経常利益は、持分法利益が減少しながらも、2桁台の利益率を計上
四半期純利益は、関係会社株式売却益があった前年度から減少

(単位：億円)

	24年度1Q	25年度1Q	増減
受注高	859	888	+29
売上高	701	812	+111
営業利益	43	89	+46
営業利益率	6.1%	11.0%	-
経常利益	87	101	+15
経常利益率	12.4%	12.5%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	288	72	△216

<期中平均為替レート>

	24年度1Q	25年度1Q
USドル	156.70円	146.83円

2025年度 第1四半期 セグメント別決算概要

※ 船用推進システム、物流システム部門において、
豊富な手持ち工事が着実に進捗したことにより増収増益

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	24年度1Q	25年度1Q	増減	24年度1Q	25年度1Q	増減	24年度1Q	25年度1Q	増減
成長事業推進	93	92	△2	75	81	+7	10	10	0
船用推進システム	564	413	△151	328	380	+52	24	41	+17
物流システム	108	209	+101	132	159	+27	8	29	+21
周辺サービス	92	173	+81	163	191	+28	3	9	+6
その他	0	1	0	3	0	△3	△2	0	+2
合計	859	888	+29	701	812	+111	43	89	+46

2025年度 第1四半期 連結キャッシュ・フローの概要

※ クレーンの売掛金回収や、船用エンジンの受注に伴う前受金の増加などにより、
営業キャッシュ・フローが黒字に転換

(単位：億円)

	24年度1Q	25年度1Q	増減	
営業CF	△24	145	+169	25年度1Qは、クレーンの売掛金回収や、船用エンジンの受注に伴う前受金の増加などにより、145億円の黒字に転換
投資CF	696	55	△641	24年度1Qの696億円は、主に関係会社株式の売却による収入
フリーCF	672	200	△472	
財務CF	△570	△ 31	+539	25年度1Qの△31億円は、主に配当金支払と借入金返済による支出 24年度1Qの△570億円は、主に短期借入金の返済による支出

2025年度 連結業績通期見通し

※ 好調な滑り出しとなったが、外部環境の不透明感を踏まえ、
通期見通しは期初計画から変更なし

(単位：億円)

	25年度 見通し
受注高	3,000
売上高	3,400
営業利益	240
経常利益	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	200
フリーCF	160
有利子負債	950

(単位：億円)

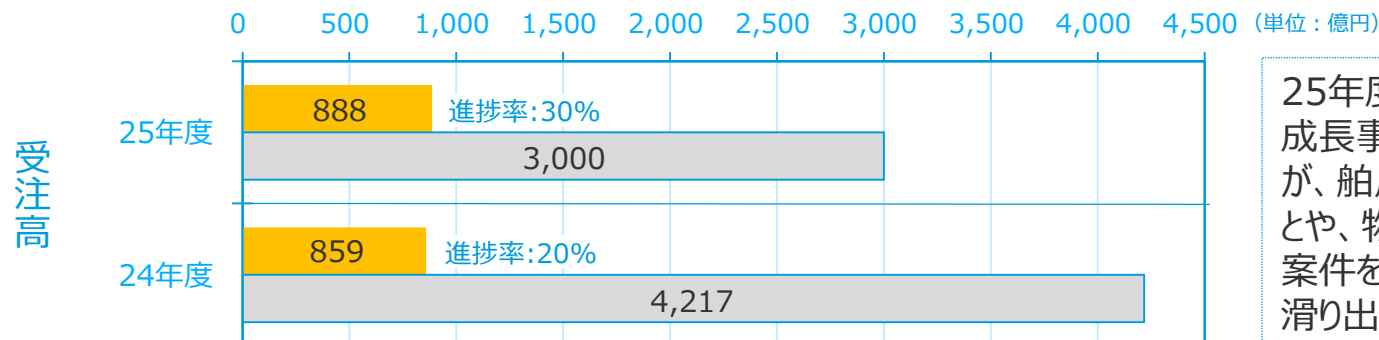
セグメント別 25年度 見通し	受注高	売上高	営業利益
成長事業推進	500	400	60
船用推進システム	1,200	1,500	90
物流システム	600	650	60
周辺サービス	700	850	30
その他	0	0	0
合計	3,000	3,400	240

※ 前提為替レート US\$ = 140円

※ 為替ヘッジの進捗により、今年度におけるUSドル1円の為替変動が
営業利益に与える影響はほぼありません

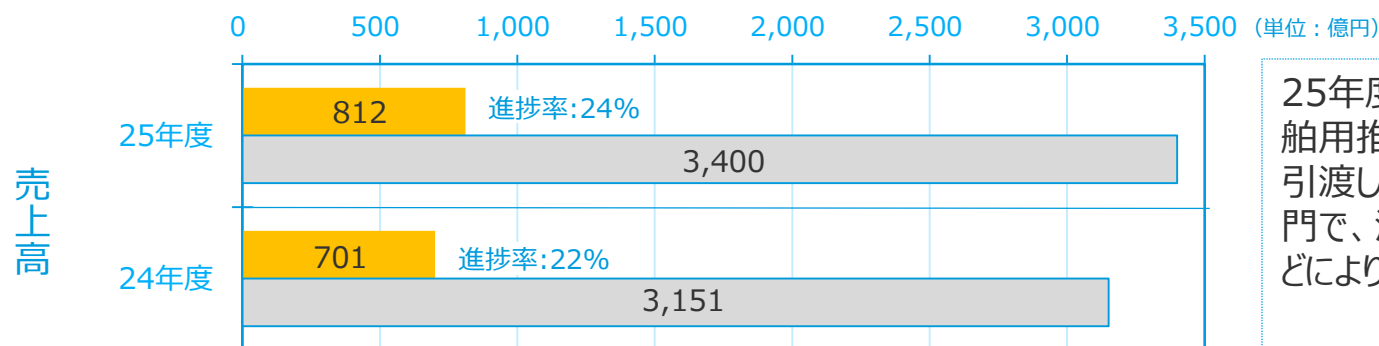
2025年度 第1四半期 進捗状況

※ 営業利益は、採算の良い案件の売上が第1四半期に集中したことにより、高い進捗率を計上



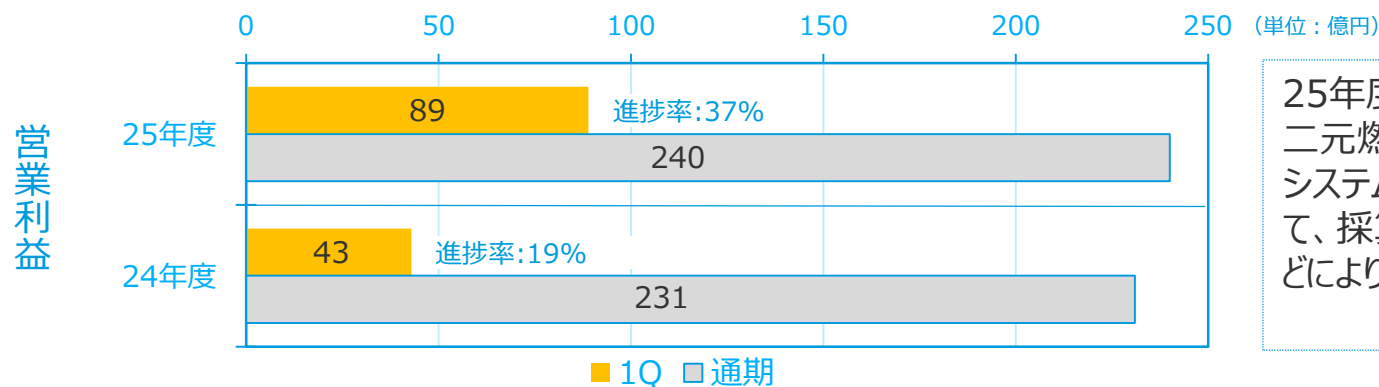
25年度 1Q:

成長事業推進部門の進捗は若干低くなっているが、船用推進システム部門が計画通り進捗したことや、物流システム部門で、東南アジア向け大型案件を受注したことなどにより、全体として好調な滑り出しとなった。



25年度 1Q:

船用推進システム部門において、船用エンジンの引渡しが順調に推移したことや、物流システム部門で、海外向け大型案件が着実に進捗したことなどにより、全体的に概ね計画通りの進捗となった。



25年度 1Q:

二元燃料エンジンの割合増加などによる船用推進システム部門の好調や、物流システム部門において、採算の良い案件の売上が1Qに集中したことなどにより、全体として高い進捗率となった。

※ ベトナム最大の物流拠点のひとつである Phuoc An Port の荷役能力増強に貢献

Phuoc An Port 向け	稼働済	納入予定	直近受注	合計
岸壁用コンテナクレーン	4基	5基	11基	20基
タイヤ式電動トランスファークレーン	9基	16基	11基	36基
合計	13基	21基	22基	56基

客先：Petro Vietnam Phuoc An Port Investment & Operation Joint Stock Company(以下PAP)

- ・ベトナム政府出資の新興の港湾運営会社
- ・南部地域において国際貿易の需要増大に対応するだけでなく、主要港間の接続性を強化
- ・Phuoc An Port は、PAPが開発しているターミナルでありベトナム最大の物流拠点のひとつ



※三井E&Sのベトナム全体の実績

- ・直近10年間でトップシェアとなる170基以上の港湾クレーンを納入

東南アジア市場の港湾インフラ整備を通じて、港湾クレーン事業の世界的市場展開を進める

※ 株式会社日本格付研究所（JCR）より、長期発行体格付について、前回から2ノッチ引き上げとなるBBB+（安定的）を取得

対象	前回	今回
長期発行体格付	BBB-	BBB+
格付の見通し	ポジティブ	安定的
発行登録債予備格付	BBB-	BBB+
国内CP格付	J-2	J-2

取得日：2025年7月18日

＜主な格付事由＞

- ・主力事業となる船用推進システム部門、物流システム部門が、国内を中心に高い競争力を維持し、アフターサービス収入も堅調に推移している
- ・財務面では、自己資本の拡充と有利子負債の削減が進み、25/3期末の財務諸指標が前期末から大きく改善し、今後も財務規律を重視した事業運営がなされる方針が示されている

資金調達コストの一層の削減に向け、更なる引き上げを格付機関に働きかけていく

※ 関係会社株式など大型資産の売却が完了 特別損益などの影響が少ない本業主体の利益構造となる

(単位：億円)

科目	24年度1Q	25年度1Q	増減	
売上高	701	812	+111	
売上総利益	113	161	+48	
販売費及び一般管理費	70	72	+2	
営業利益	43	89	+46	
営業外収益	57	21	△36	主に関係会社株式の売却による持分法投資利益の減少
営業外費用	13	8	△5	
経常利益	87	101	+15	
特別利益	255	3	△252	24年度1Qの255億円は、主に関係会社株式売却益
特別損失	13	1	△13	
税金等調整前四半期純利益	328	104	△224	
法人税等	40	32	△8	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	0	0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	288	72	△216	

※ 四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の積み上げにより、自己資本比率向上

(単位：億円)

	24年度	25年度1Q	増減	
資産合計	4,492	4,510	+18	
(現金及び預金)	354	519	+165	
(受取手形、売掛金及び契約資産等)	1,079	938	△141	主にクレーンの売掛金回収による減少
(棚卸資産)	699	722	+22	
(有形・無形固定資産)	1,303	1,257	△46	
(投資有価証券)	297	306	+9	
負債合計	2,751	2,693	△57	
(支払手形及び買掛金等)	591	570	△22	
(契約負債)	442	538	+96	主に船用エンジンの受注に伴う前受金の増加
(有利子負債)	978	970	△8	
	うち短期借入金	540	534	△6
	うち長期借入金	438	436	△2
純資産合計	1,742	1,816	+75	
(自己資本)	1,698	1,773	+75	主に利益剰余金の積み上げによる増加
(自己資本比率)	37.8%	39.3%	-	
運転資本 (*)	701	545	△156	
D/Eレシオ	0.6倍	0.5倍	-	

(*1) 運転資本 = 売上債権 (除く前受金) + 棚卸資産 - 仕入債務

※ 25年度第 1 四半期は、二元燃料エンジンの引き渡しが順調に推移

	24年度 1Q		25年度 1Q		25年度 見通し	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注高	42	148	37	73	—	—
売上高	38	80	36	80	—	—
受注残高	124	300	155	410	—	—
生産実績	32	65	35	75	146	316



MITSUMI E&S

Engineering & Services for Evolution & Sustainability

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性があります。